

# 一般社団法人日本応用地質学会東北支部 第30回 研究発表会プログラム

開催日：令和6年7月18日（木）

会場：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター

協賛：東北地質調査業協会

## 開 会

- 10:00 開会  
10:00～10:05 支部長挨拶

## 発表（午前の部）

- 10:05～10:25 ICP-MS を用いた花崗岩類の地質風化度検討  
○日下部 裕貴（株式会社復建技術コンサルタント）  
川越 清樹（福島大学）  
藪崎 志穂（総合地球環境学研究所）
- 10:25～10:45 実現象再現溶出試験の実施事例と課題  
○柴田 樹、橋本 智雄、神崎 裕（中央開発株式会社）
- 10:45～11:05 1804年象潟地震による津波堆積物の堆積学的及び古生物学的特徴  
○長尾 優樹（大日本ダイヤコンサルタント株式会社 東北支社）
- 11:05～11:25 十和田火山噴火エピソードMの噴出物の斜長石組成分布  
○高橋 修一郎（株式会社復建技術コンサルタント）
- 11:25～11:45 地殻内流体の移動におけるマイクロクラックの重要性  
放射性廃棄物の地層処分、地熱開発、二酸化炭素の地中貯留事業との関連  
○竹下 徹（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
- 11:45～12:05 能登半島地震と段丘、および糸静線と黒部川花崗岩  
（第四紀スラストによる uplift と exhume）  
○遅沢 壮一（カワオソ分子生命地質研究所）

.....\*\*.....\*\*.....

- 12:05～13:00 (休 憩)

.....\*\*.....\*\*.....

特別講演

13:00～14:30 「地域地質学と応用地質学の視点からみた令和6年能登半島地震の地質災害」  
塚脇 真二 氏（金沢大学環日本海域環境研究センター・陸域環境領域 教授）

.....\*\*.....\*\*.....

14:30～14:40 (休 憩)

.....\*\*.....\*\*.....

発表（午後の部）

14:40～15:00 能登半島地震シーケンス：群発地震活動から本震，余震活動  
○遠田 晋次（東北大学災害科学国際研究所）

15:00～15:20 令和6年能登半島地震に伴い発生した内灘町の液状化・側方流動による  
地表変状の分布からみた地形変化の影響  
○原 勇貴、遠田 晋次、高橋 尚志（東北大学災害科学国際研究所）  
鳥井 真之（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター）  
塚脇 真二（金沢大学環日本海域環境研究センター）

15:20～15:40 2024年能登半島地震による道路災害 災害それとも失敗？  
○高見 智之（国際航業株式会社）

15:40～16:00 能登半島地震で発生した隆起海岸沿いの斜面崩壊  
○村上 智昭（株式会社復建技術コンサルタント）

16:00～16:10 ジオさんぽ 2024 in 多賀城【予告】  
一創建1300年，多賀城碑国宝指定を記念して—  
○橋本 修一（株式会社東北開発コンサルタント）

.....\*\*.....\*\*.....

16:10～16:15 (休 憩)

.....\*\*.....\*\*.....

総合討論

16:15～16:40

閉 会

16:40 閉会

16:40 副支部長挨拶